

# ゆうちょ銀行

## 2014年(平成26年)3月期 第3四半期決算の概要について

株式会社ゆうちょ銀行

2014年2月21日

## 当第3四半期(累計)の経営成績

(億円、%)

	2014/3期 第3四半期	2013/3期 第3四半期	増減
経常収益	15,757	16,241	△ 484
経常費用	11,587	11,821	△ 234
うち経費 ※1	8,393	8,451	△ 57
業務純益	3,403	3,913	△ 510
経常利益	4,169	4,420	△ 250
四半期純利益	2,646	2,808	△ 161
貯金残高 ※2	1,776,298	1,769,113	+ 7,184
単体自己資本比率 (国内基準)	57.22	69.16	△ 11.93
金融再生法に基づく 開示債権	—	—	—
不良債権比率	—	—	—

※1 臨時処理分を除く。 ※2 未払利子を除く。

## 概要

- 当第3四半期(累計)の経常収益は、前第3四半期比484億円減少の1兆5,757億円。  
一方、経常費用は、前第3四半期比234億円減少の1兆1,587億円。  
このうち経費は、前第3四半期比57億円減少の8,393億円。  
業務純益は、前第3四半期比510億円減少の3,403億円。

国内金利が低位に留まる厳しい経営環境下、収益源泉の多様化に注力した結果、経常利益は4,169億円、四半期純利益は2,646億円。

- 当第3四半期(累計)の実績等を踏まえ、2014年3月期の業績予想(通期)を修正。

経常利益 5,200億円(前回公表比 1,100億円増益)

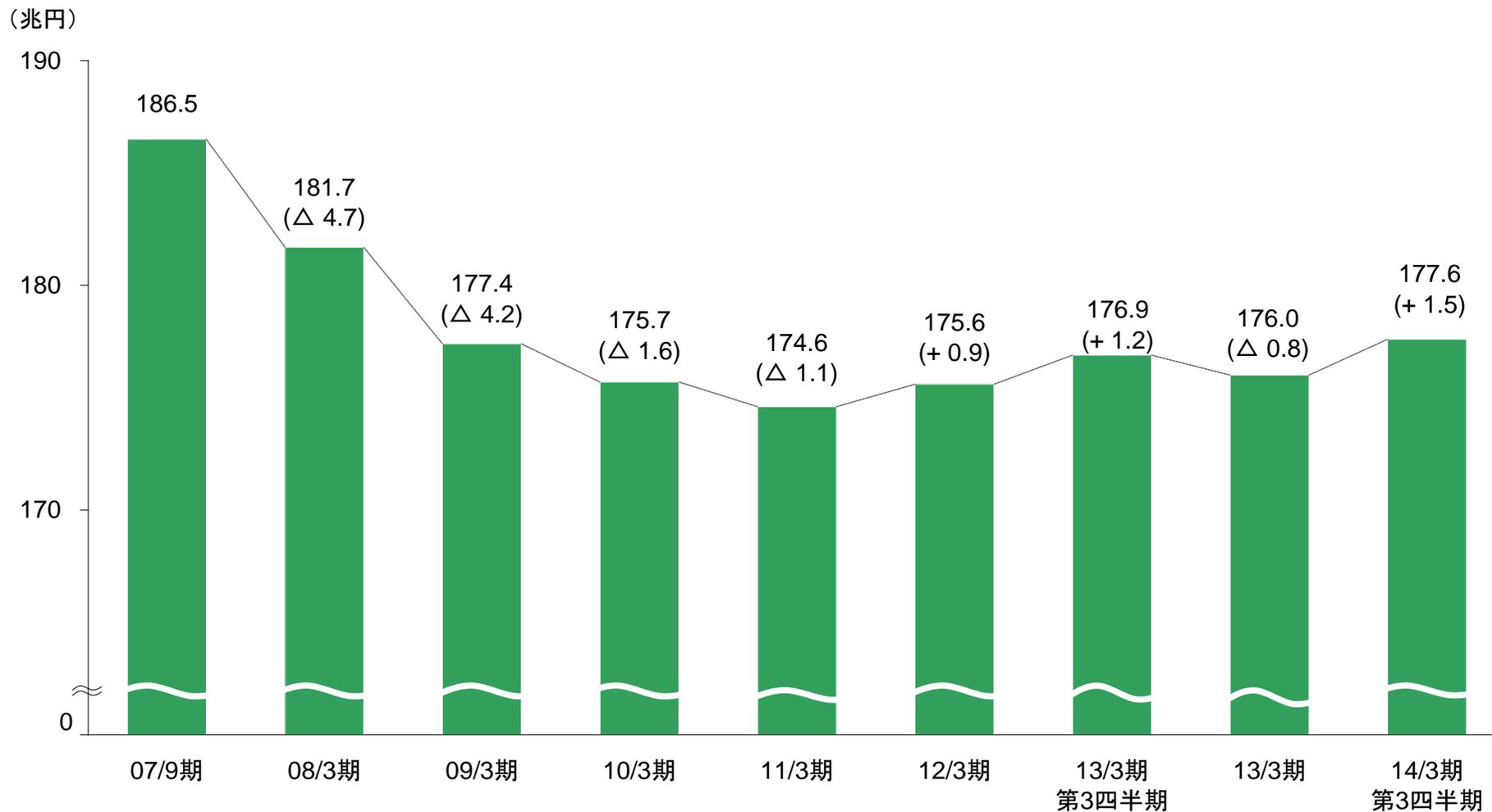
当期純利益 3,200億円(前回公表比 600億円増益)

- 当第3四半期末の貯金残高は、177兆6,298億円(未払利子を含む貯金残高は178兆7,026億円)。

- 単体自己資本比率(国内基準)は、57.22%。

- 金融再生法に基づく開示債権は該当ありません。

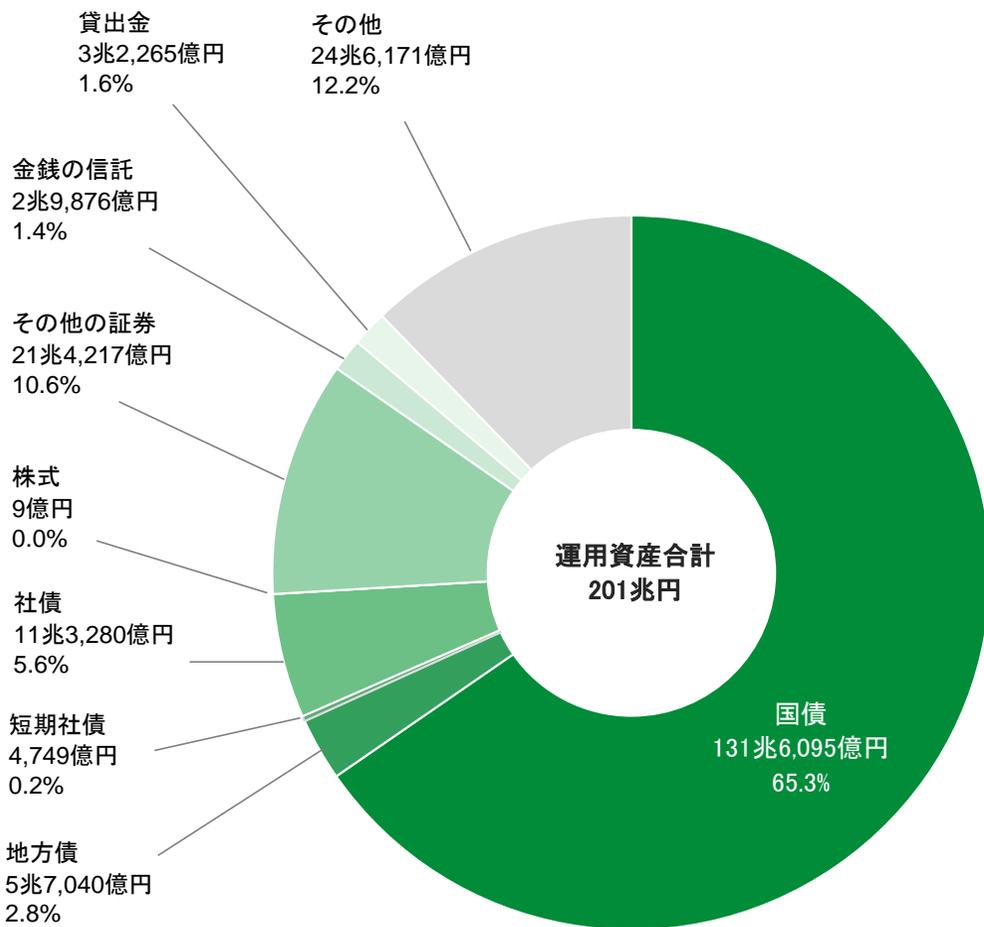
■ 郵便局との連携による営業推進態勢の強化により、当第3四半期末の貯金残高は、177.6兆円を確保（前期末比+1.5兆円、前第3四半期末比+0.7兆円）



注：未払利子を含んでいない。また、07/9期は日本郵政公社の残高であり、民営化以降取扱う貯金を一部変更している。

注：小数第2位以下の端数は切捨て。

■ 運用資産は、国債を中心とした有価証券が170兆円、貸出金が3兆円。



(億円)

区分	2014/3期 第3四半期末	構成比 (%)	2013/3期 期末	構成比 (%)
貸出金	32,265	1.6	39,679	2.0
有価証券	1,705,392	84.6	1,715,965	86.8
国債	1,316,095	65.3	1,381,987	69.9
地方債	57,040	2.8	58,060	2.9
短期社債	4,749	0.2	5,489	0.2
社債	113,280	5.6	113,040	5.7
株式	9	0.0	9	0.0
その他の証券	214,217	10.6	157,378	7.9
金銭の信託	29,876	1.4	30,388	1.5
その他	246,171	12.2	190,617	9.6
<b>運用資産</b>	<b>2,013,705</b>	<b>100.0</b>	<b>1,976,651</b>	<b>100.0</b>